

欧米経済史（坂出）

2006.7.11

#11 本講義の総括

第10章 米国の支持は欧州統合にとって重要であったのか

第11章 大西洋統合がより進展しなかったのはなぜか

第12章 米国の「帝国」—比較の次元

定期試験の出題形式と範囲（経・法（本））

- 出題範囲—指定教科書（除第9章）持ち込みなし
- 設問1—事実・知識を問う問題（30点程度）
- 設問2—教科書・講義の全体的内容を問う論述問題（70点程度）

本日の講義のアウトライン

I. ルンデスタッドによる「三つの転換」の整理

II. 第10-12章（まとめ）の整理

III. ポスト911の国際政治経済秩序把握へのいくつかのインプリケーションー欧州統合とアジア統合

「欧州情勢は複雑怪奇」？

平沼騏一郎内閣(1939.1.5-8.30)

近衛（一次）後継内閣

政府内ドイツ派と英米派の妥協

1939.8.23 独ソ不可侵条約

8.25 英仏、ポーランドと相互援助条約

8.28 平沼騏一郎内閣、「欧州情勢は複雑怪奇」と声明し、総辞職。

1939.9 独ソ、ポ進軍

39.9.3 英仏、対独宣戦布告
「奇妙な戦争」

1941.6.22 独ソ戦開始



source: www.ndi.go.jp

(1)FDR政権の戦後構想 (BWプラン)

(2)マーシャルプラン

(3)X論文とケナン封じ込め構想→「**第一の転換**」 ECSC

(4)アチソン・ニッチェとNSC68路線 EPU

(5)JFダレスのニュールック戦略 EDC スパーク報告 (ユーラトム・EEC)

(6)アメリカの欧州統合戦略**第二の転換**—ボウイ構想からNSAM40へ

(7)ジョンソン政権 アメリカ国際収支問題 在欧米軍軍費 (オフセット) 交渉

(8)ニクソン政権 **第三の転換** 1971金ドル交換停止 1973欧州の年と新大西洋憲章

アメリカの欧州統合推進を考える二つの課題

I. 仏独枢軸（パリ＝ボン枢軸）はいかに形成されたか？

II. イギリスと大陸欧州統合との関係は？

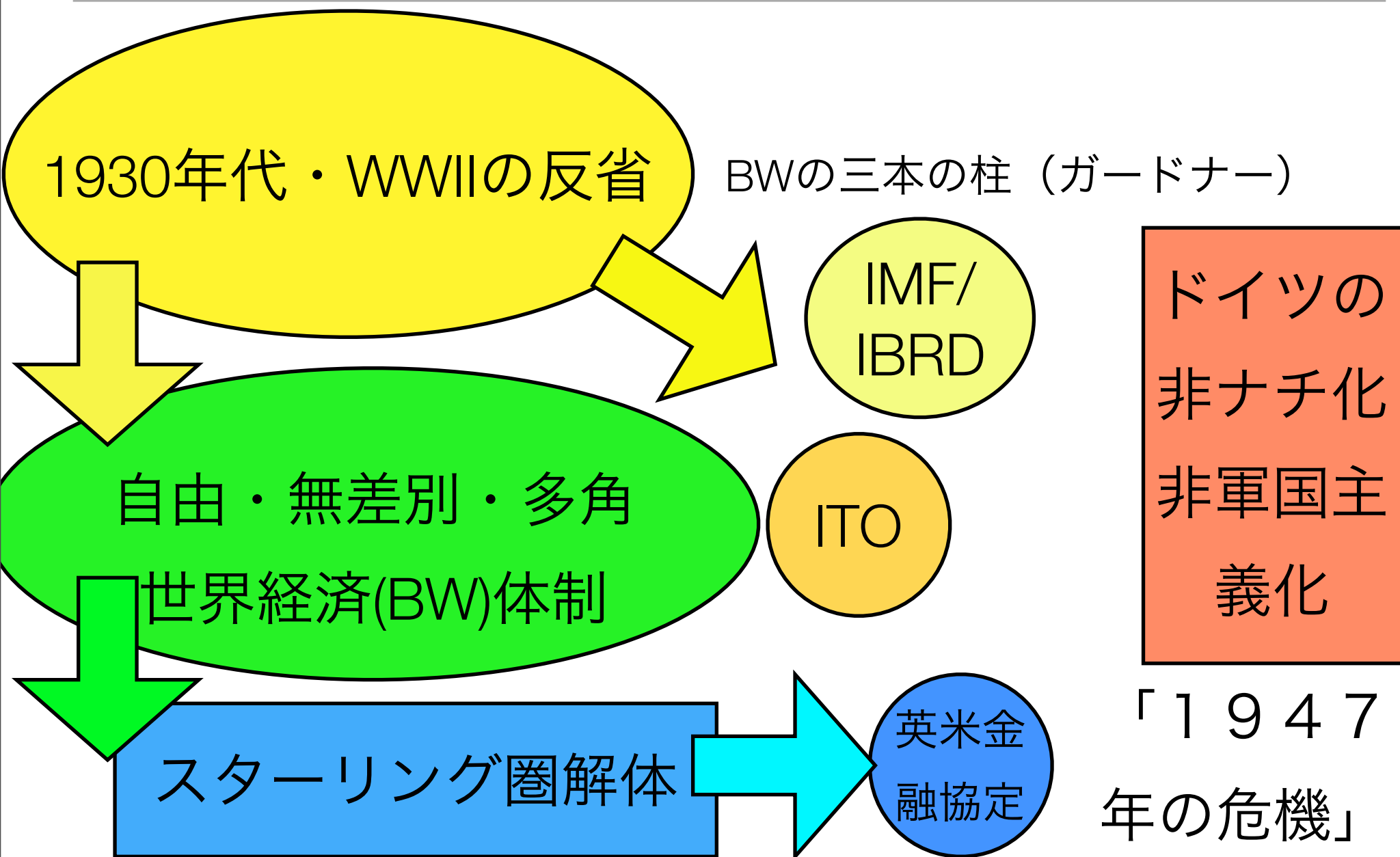
i) ECSC（欧州石炭鉄鋼共同体） 1949-50

ii) ローマ条約（EEC発足） 1957-58

iii) 第一次EEC加盟交渉 1962-63

iv) EEC加盟 1973-74

アメリカ戦後世界構想第一の挫折（1947年）



PPS/55(1949.7.7)の世界認識

I.US/
Canada

II.UK

V.東側
衛星国

III.沿岸部

IV.中欧

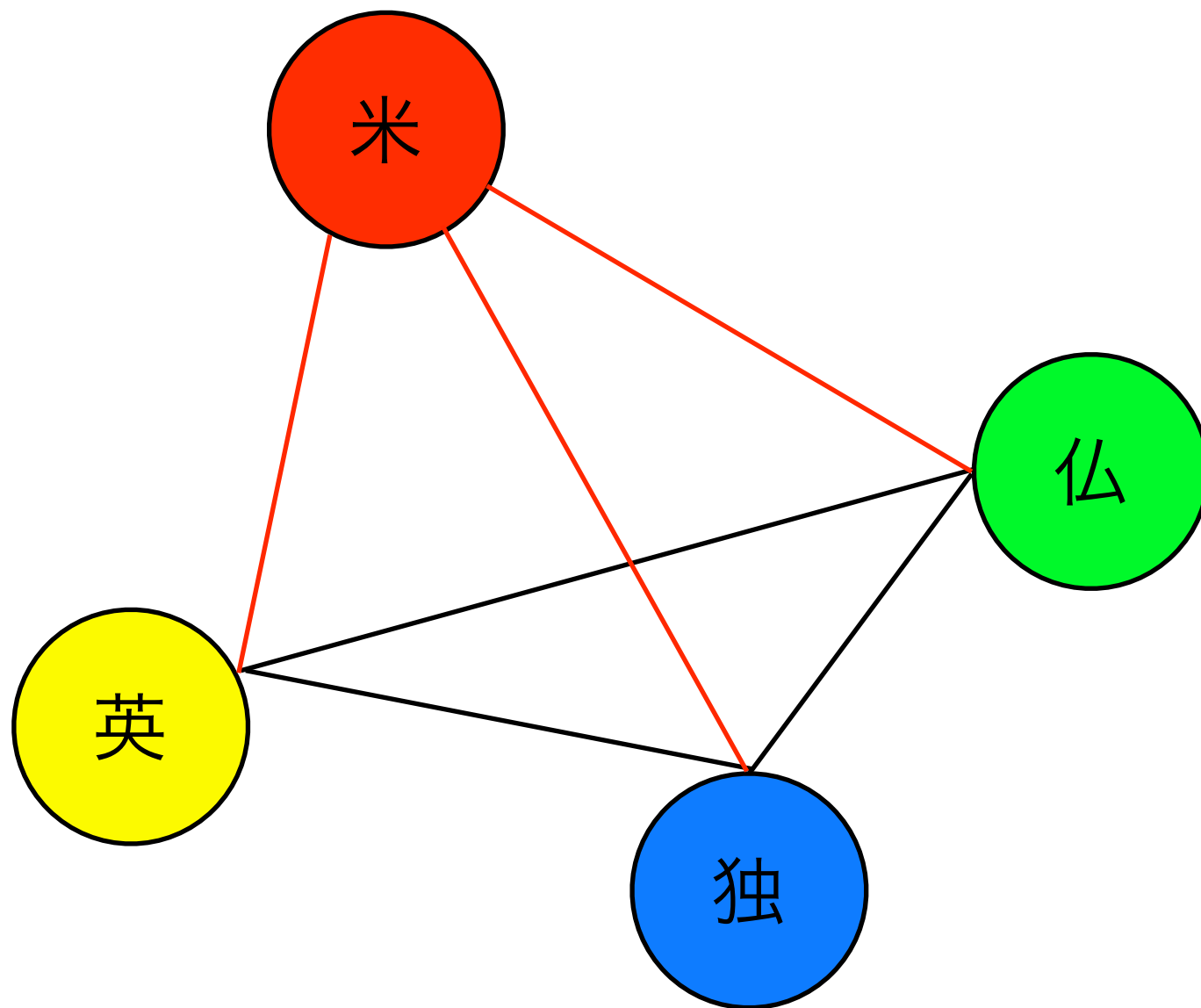
A. I-II-III-IV: 大
西洋共同体

B. I-II-III

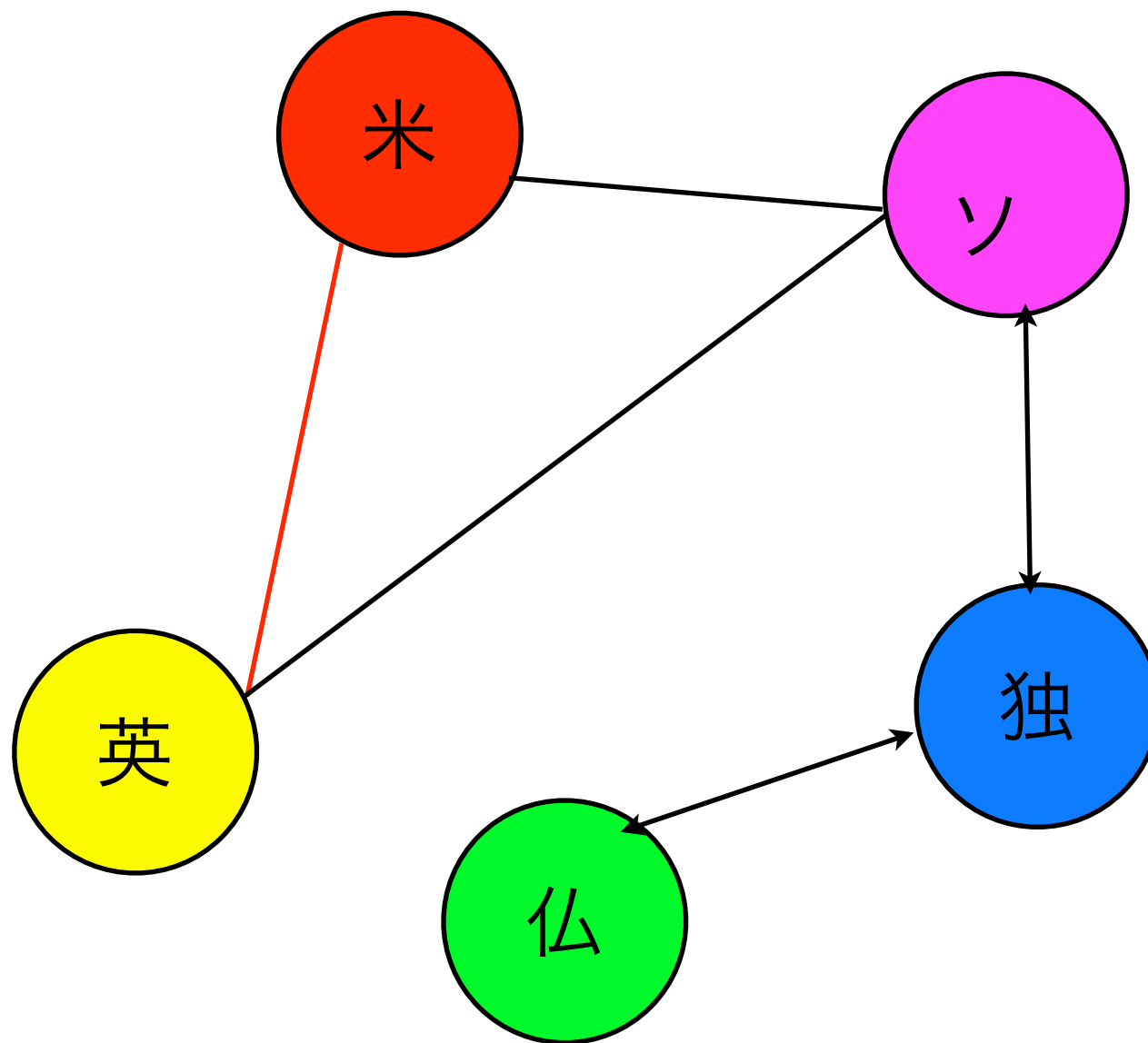
C. I-II: 英米特殊関係 統一ドイツの仮定

D. III-IV: 中立化 (ケナン案)

米一欧関係基本モデル

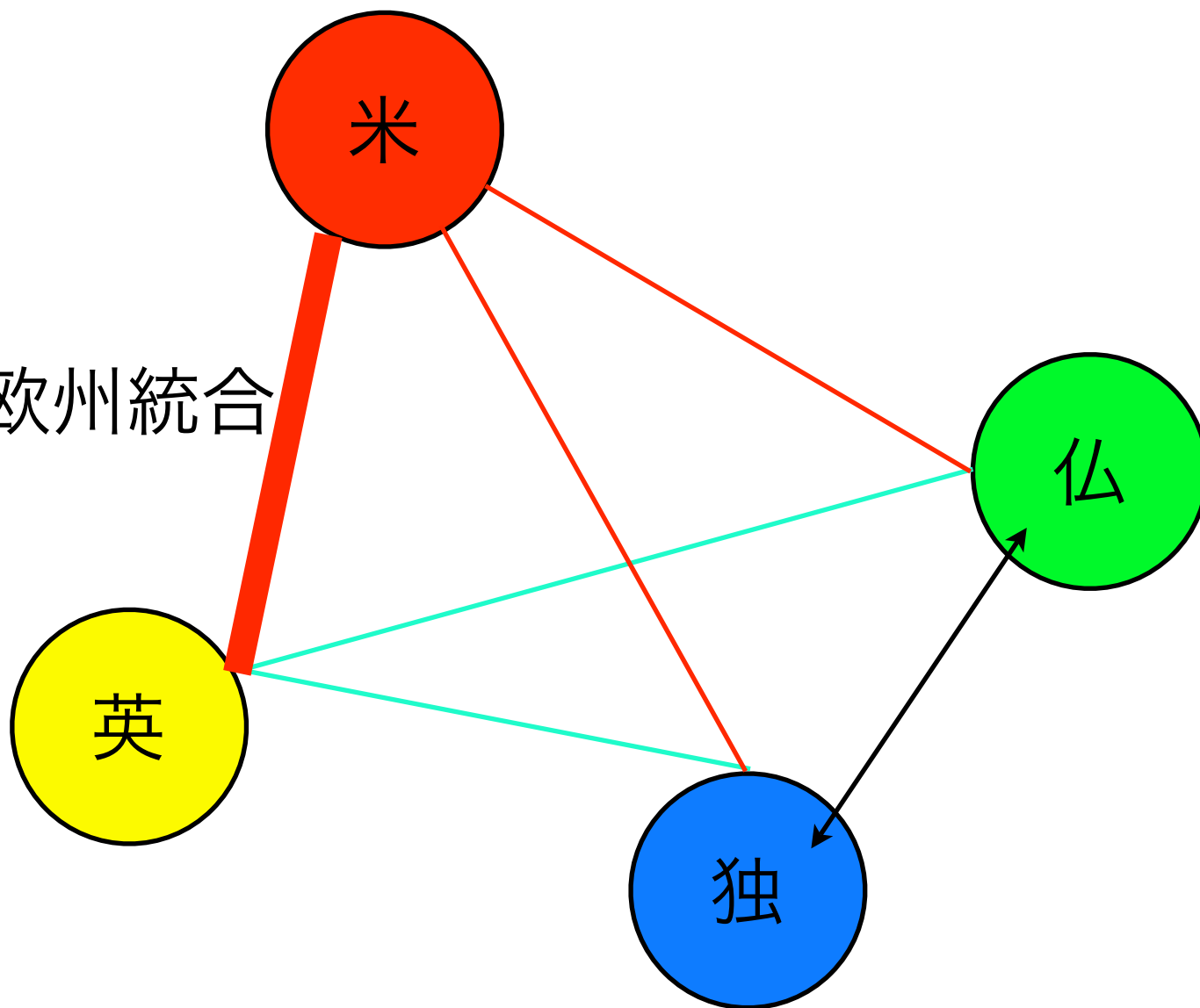


ヤルタ会談・BWシステム（第二次大戦戦時同盟）

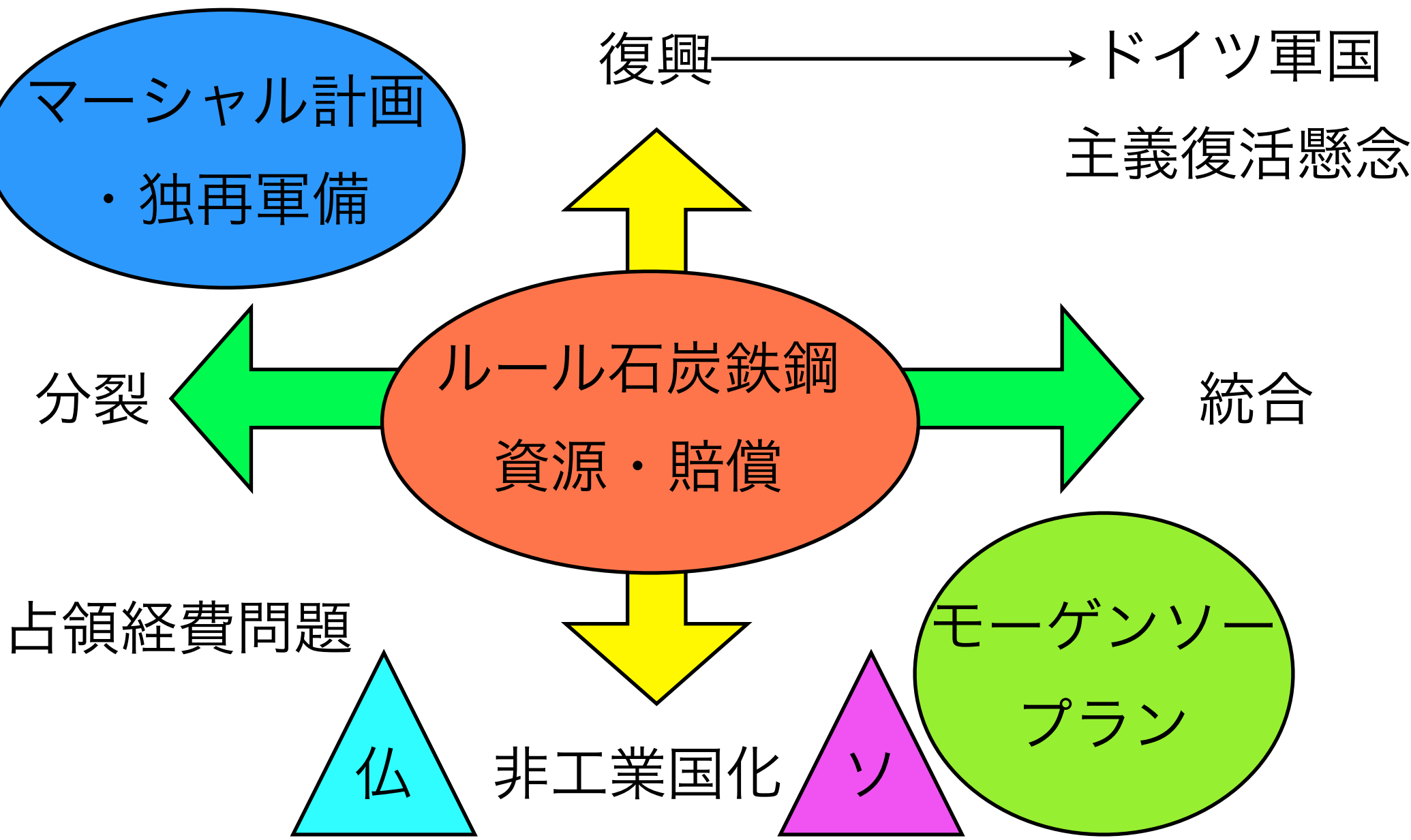


マーシャルプラン(1947)～第一の転換(1949)

英主導の欧州統合

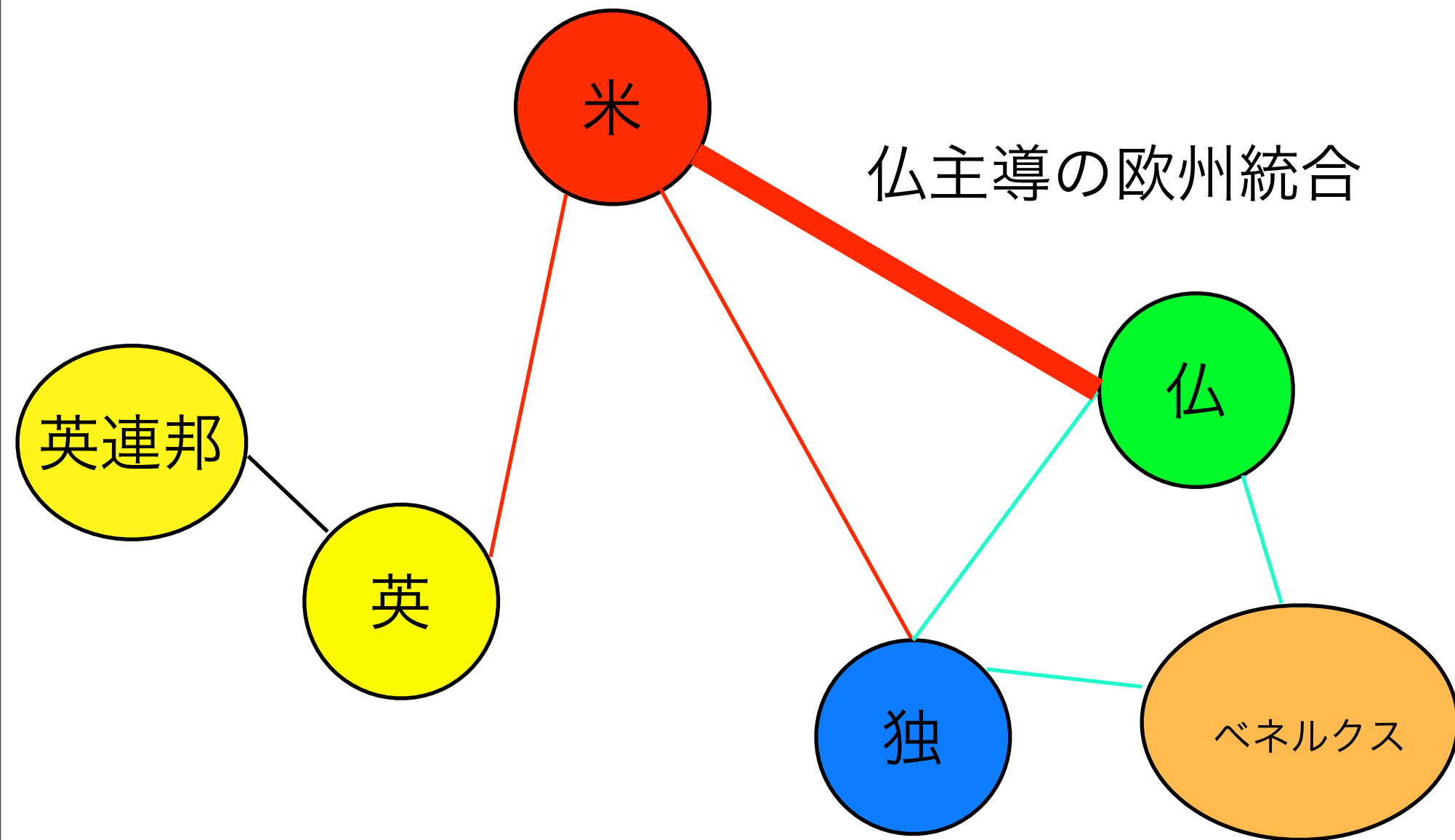


ドイツ「問題」 (ドイツ戦後処理問題)

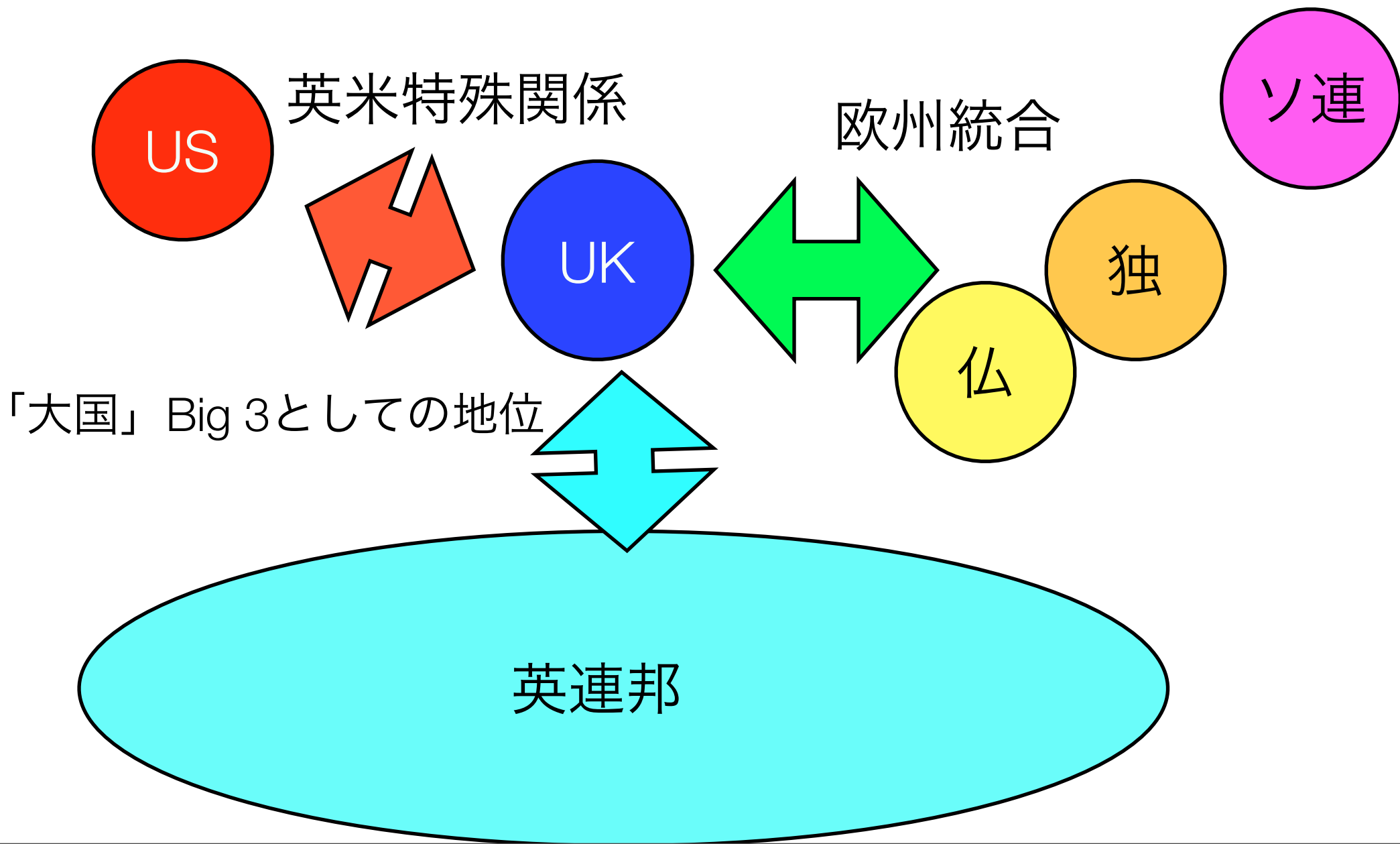


第一の転換(1949)～第二の転換(1961)

仏主導の欧州統合



戦後イギリス外交政策（三つの円環論）のジレンマ



United States of Europe

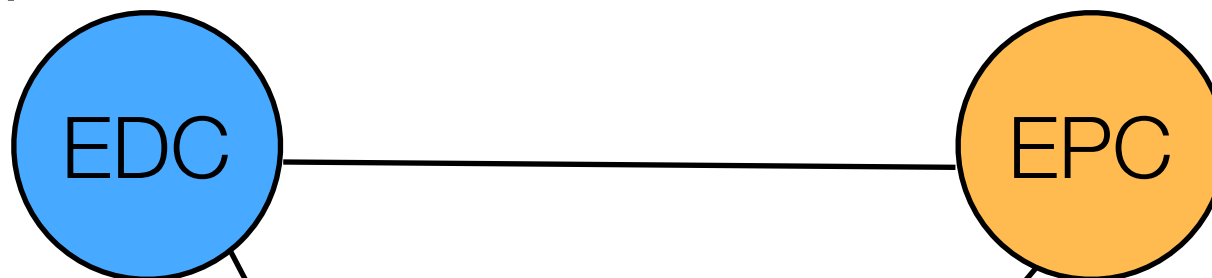
ヨーロッパ合州（合衆）国

- ECSC/Coal & Steel 石炭・鉄鋼
- Euratom/Atom 原子力
- EEC/Economic 通商
- EDC/Defense 軍事 **the Six**
- EPC/Political 政治 **超国家的統合**
- EPU/Payment 決済・通貨 **含イギリス**

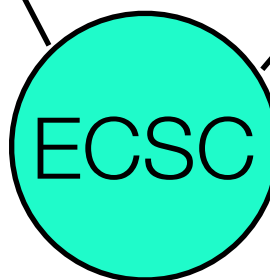
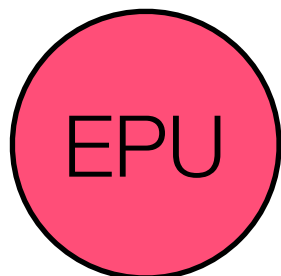
モネ主導の「ヨーロッパ連邦」 (1950年代前半)

安全保障

政治



通貨

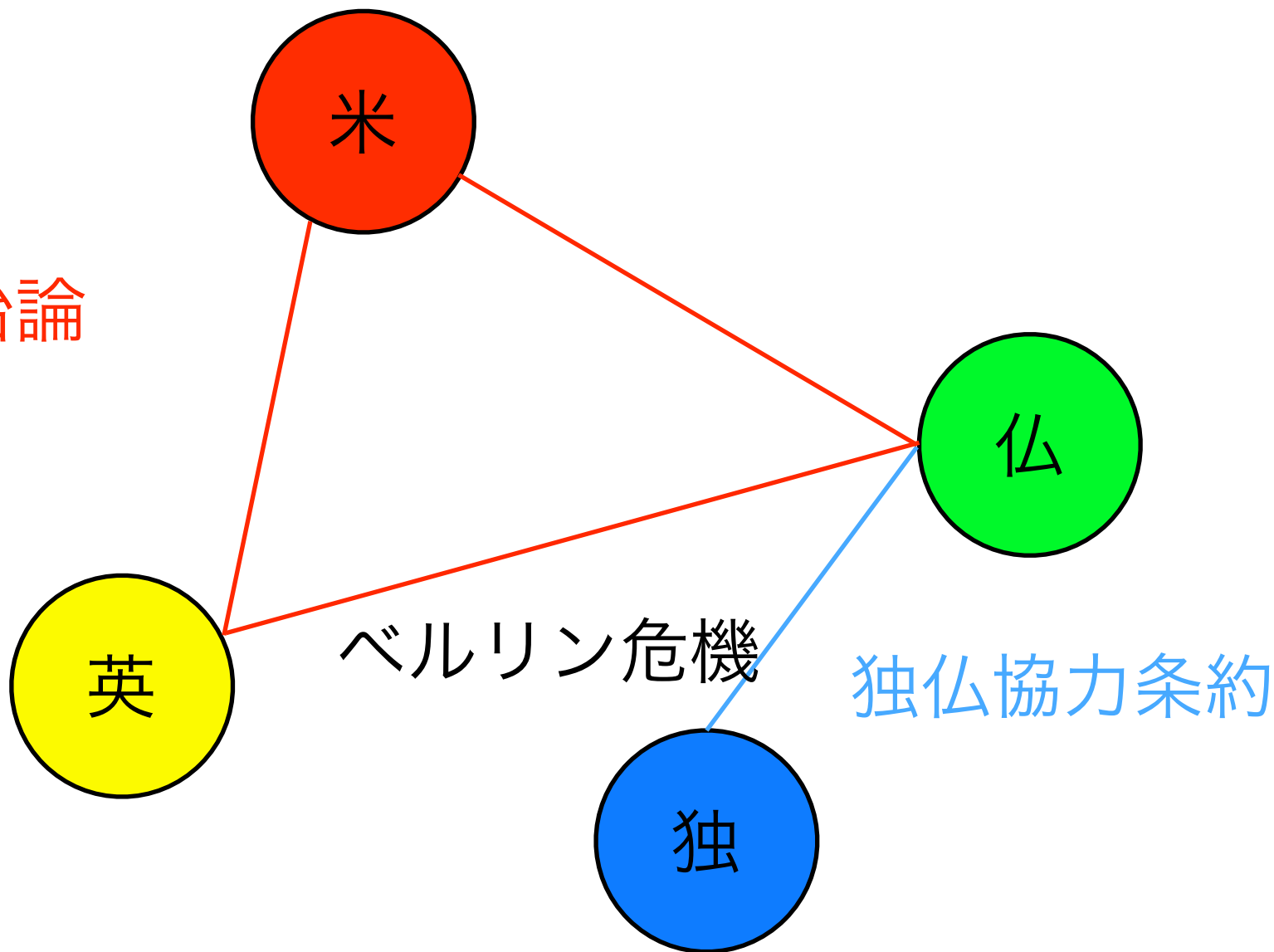


石炭・鉄鋼 (エネルギー)

大陸6カ国による超国家的統合

ドゴール構想

三頭政治論



アデナウアー政権1963年「1月危機」

大西洋同盟の
枠内の独仏協調

アデナウアー
首相

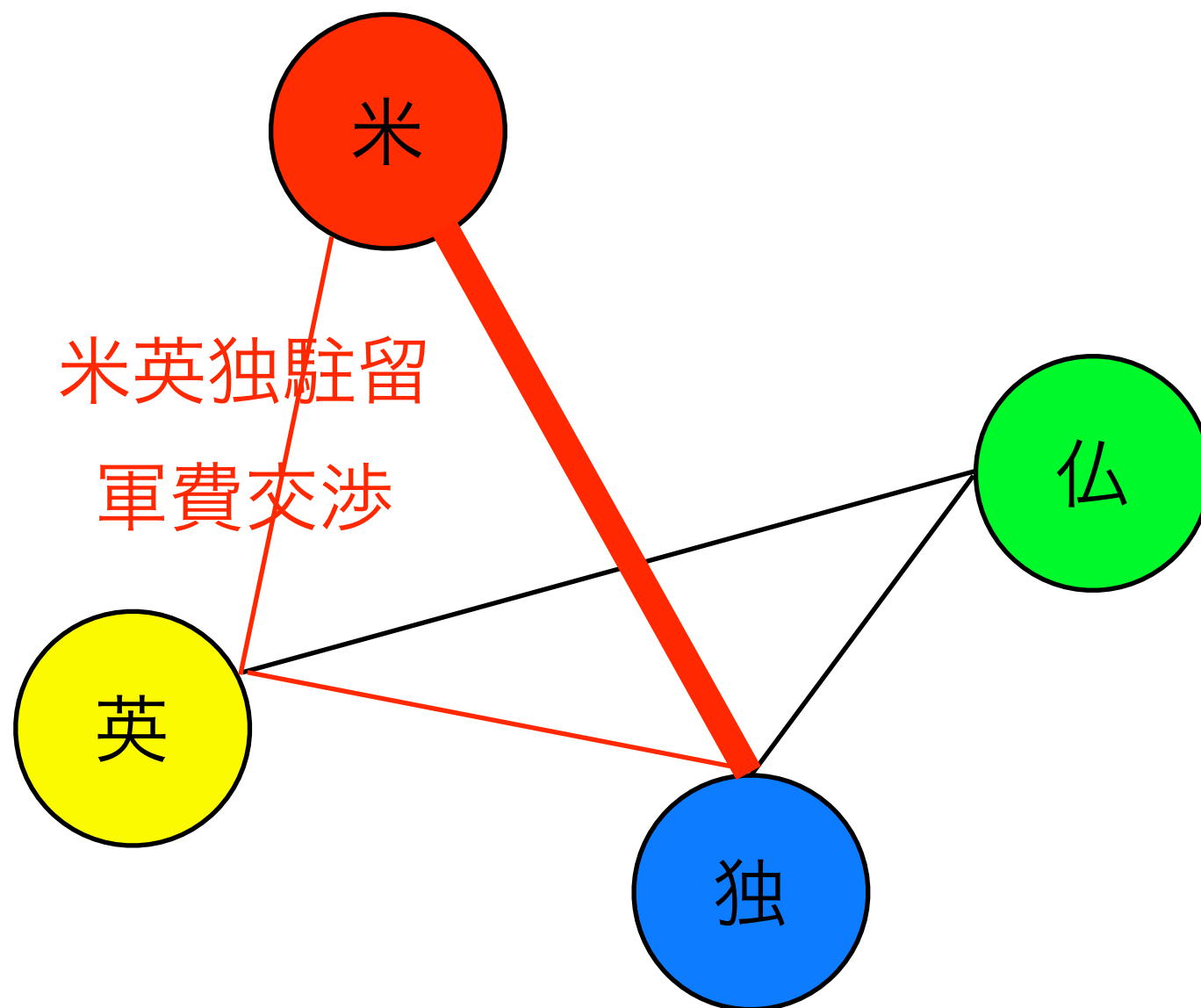
独仏協力条約
(エリゼ条約)

シュレーダー
外相

エアハルト
経済相

シュトラウス
国防相

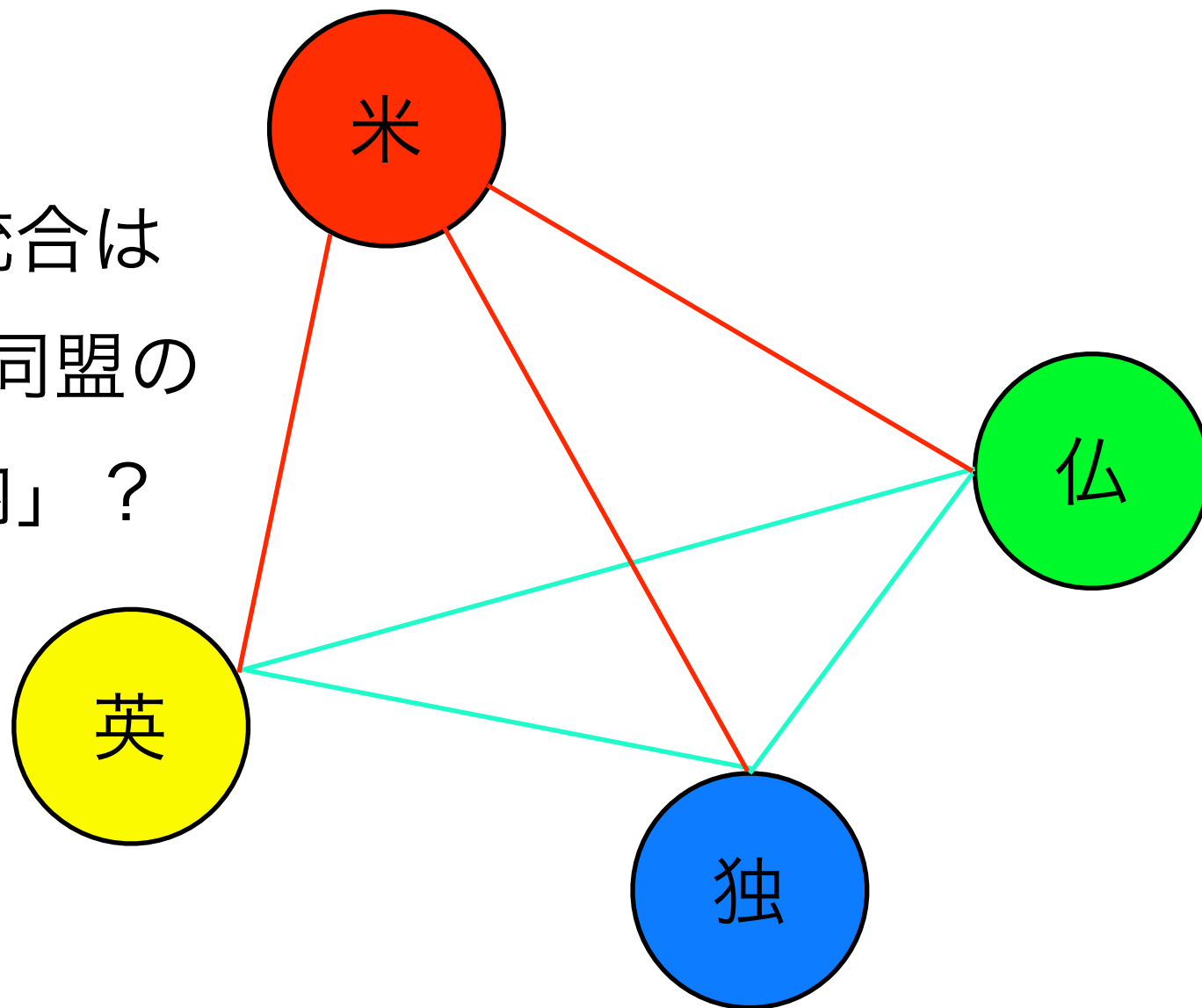
第二の転換（英米特殊関係停止） 1961- ゴーズム封じ込め



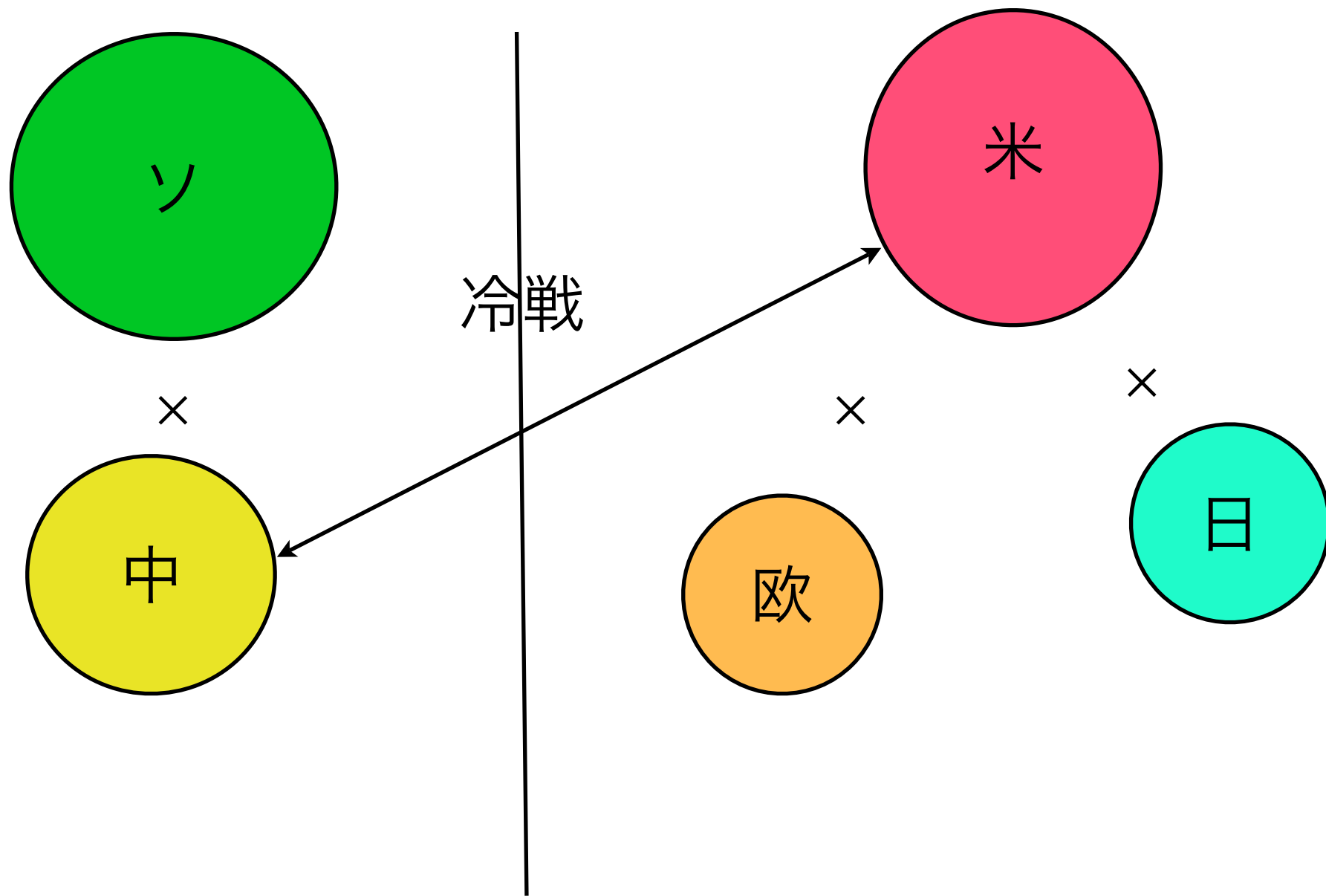
第三の轉換（対欧州統合、消極姿勢）

欧州の年(1973年)から先進国サミットへ

欧州統合は
大西洋同盟の
「枠内」？



キッシンジャー・パワーセンター論



ルンデスタッドによる整理

- 第10章 欧州統合における米国
- 第11章 米国の国益における欧州統合
- 第12章 米国による欧州の「帝国」的間接支配

米国の欧州統合の諸動機（ルンデスタット）

(1) 米国モデルー連邦主義・民主主義・市場

(2) より合理的能率的な欧州モデル

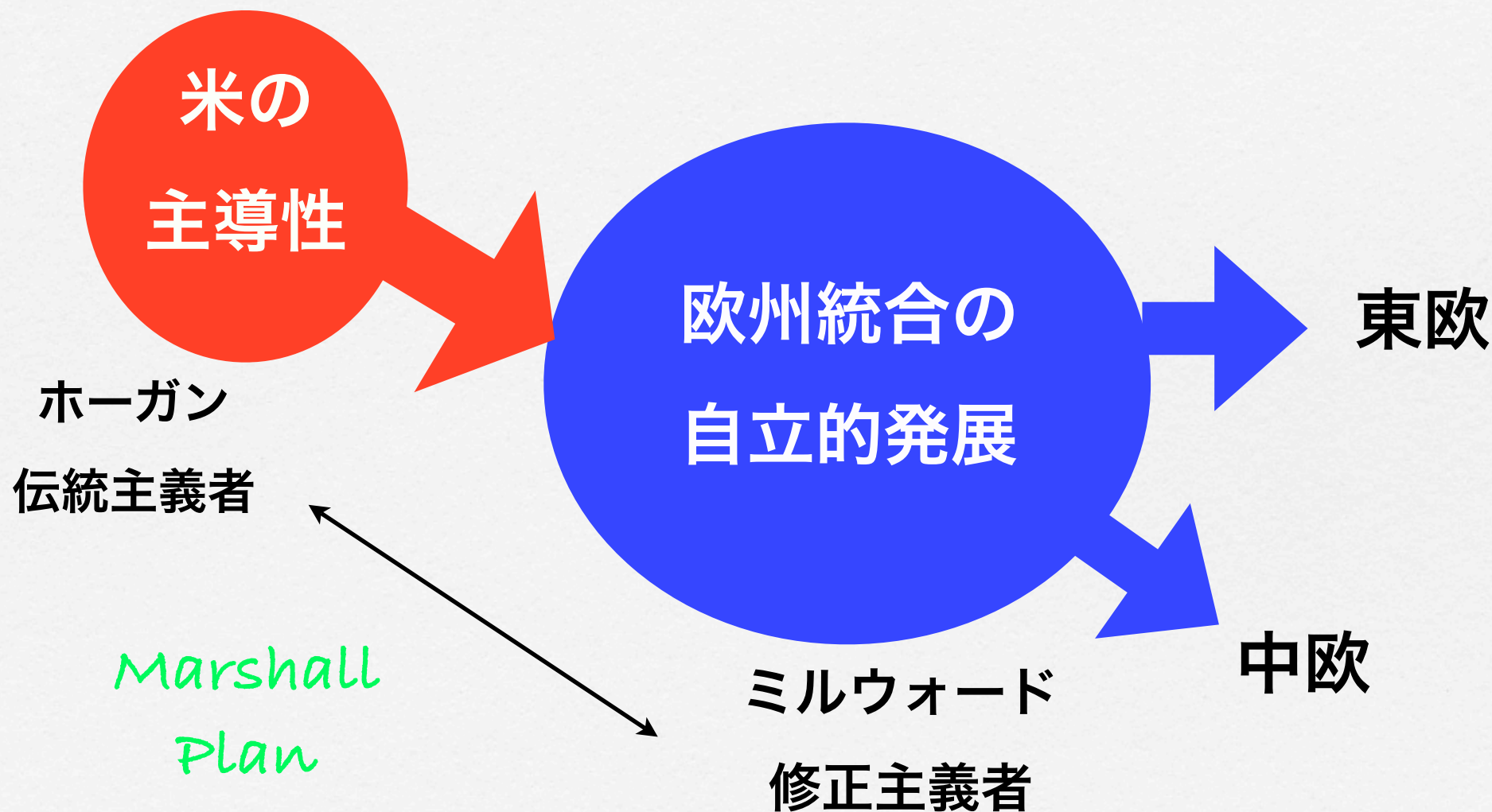
(3) 米国による責任分担の軽減

(4) ソ連封じ込め

(5) ドイツ封じ込め 「二重の封じ込め」 —

ドイツ中立化の危機—仏独和解

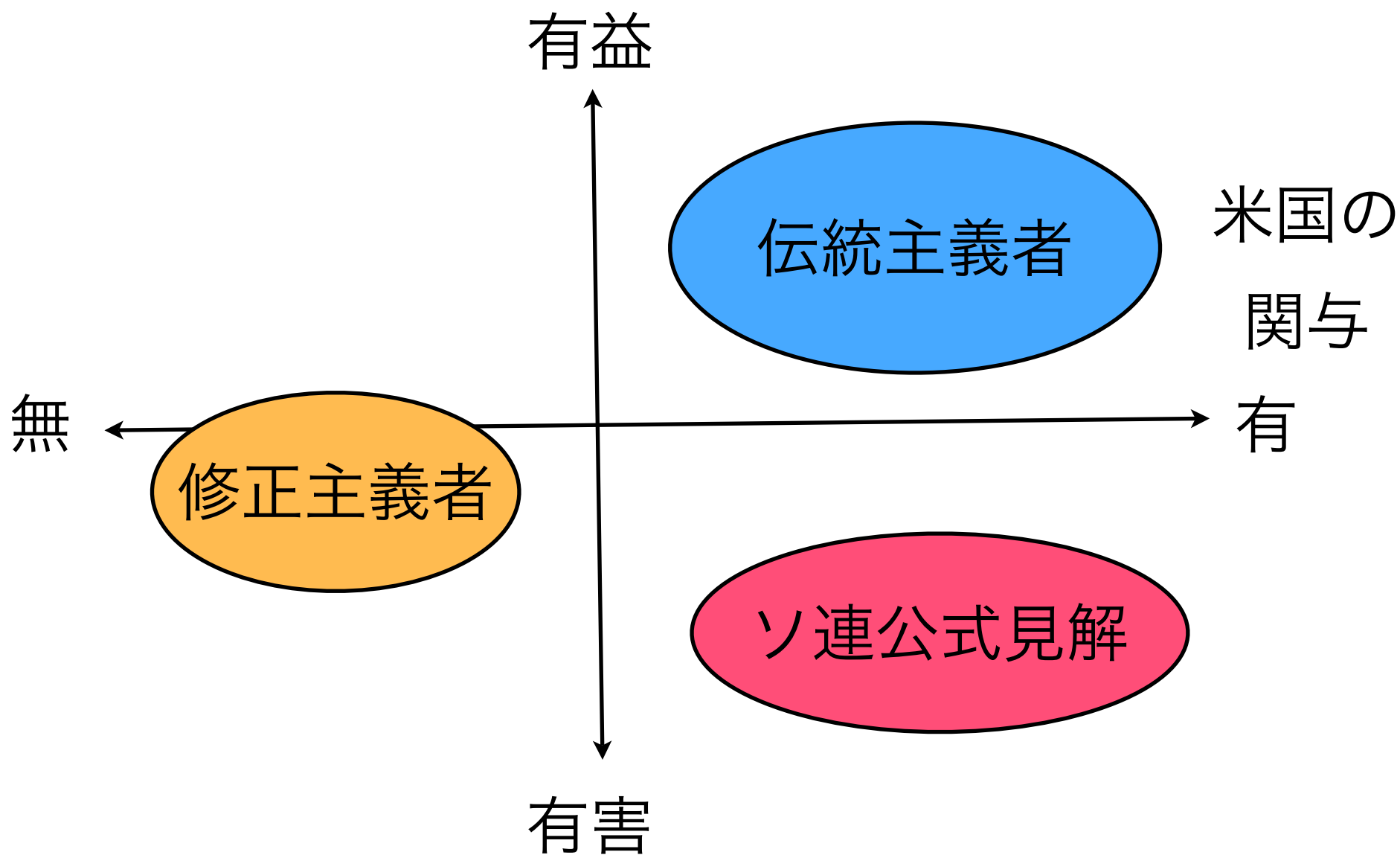
欧州統合史をみる二つの視角



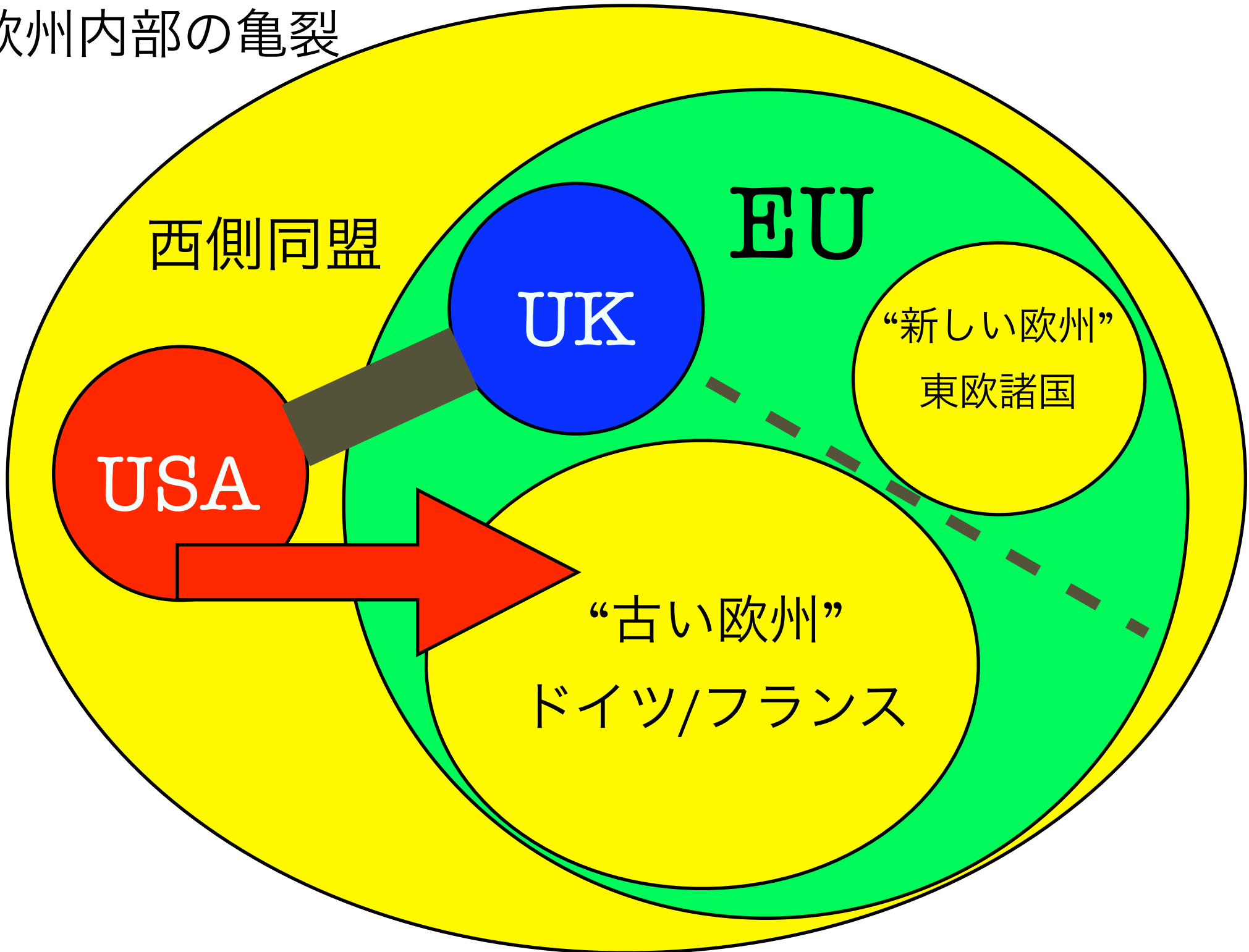
欧州統合ーアメリカの成功？挫折？

- 1947年 第一の挫折（「1947年の危機」）→マーシャルプラン
- 1949年 第二の挫折（「1949年の危機」） 第一の転換 シューマンプラン
- 1954年 第三の挫折（「EDC流産」）→第二の転換 スパーク報告（ローマ条約）
- 1957年 スプートニクショック後の混乱
- 1962/3年 米英ナッソー協定→仏ドゴール大統領の英EEC加盟拒否

伝統主義対修正主義



欧州内部の亀裂

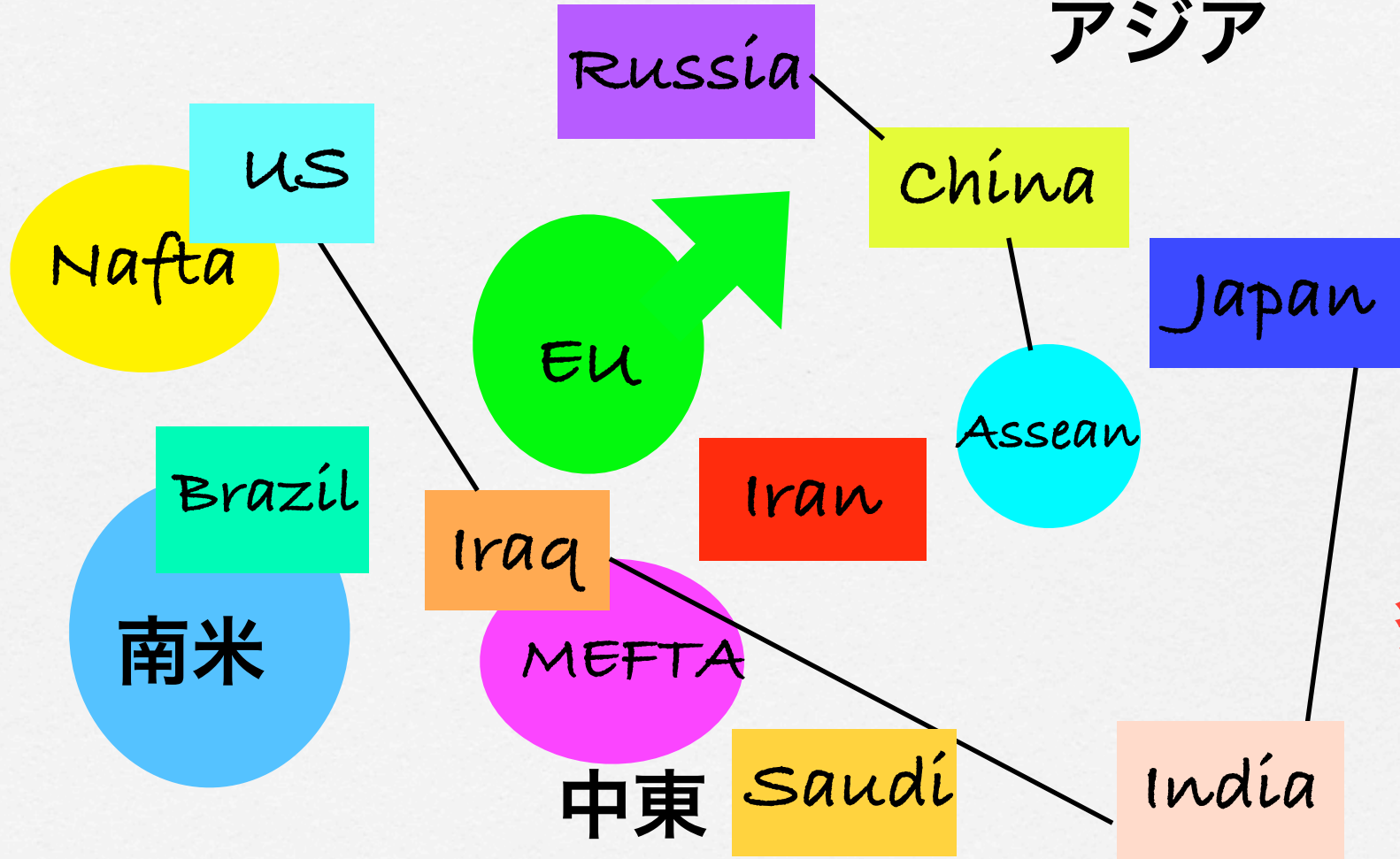


一極化？

アメリカ大陸

欧州・露

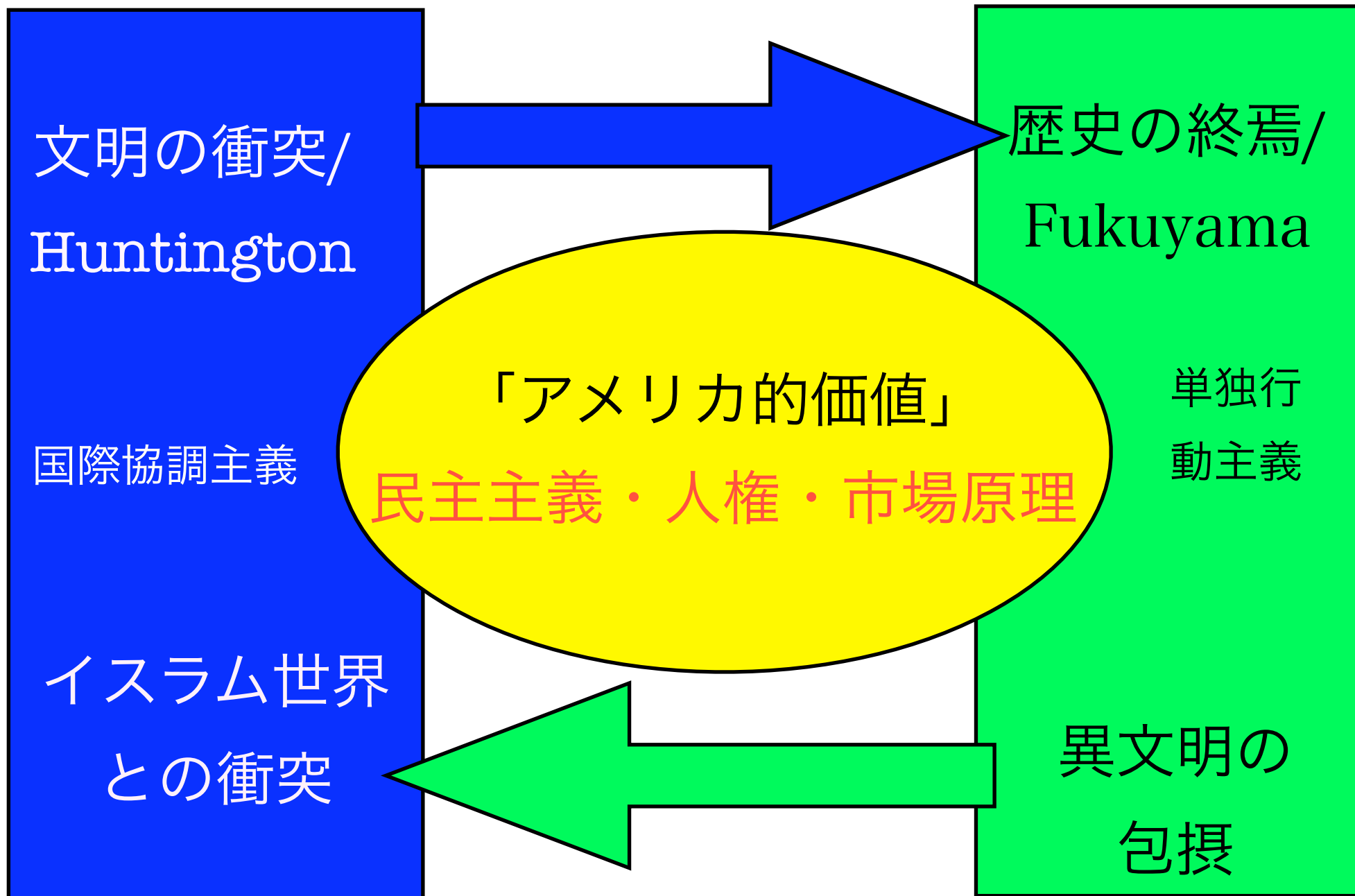
アジア



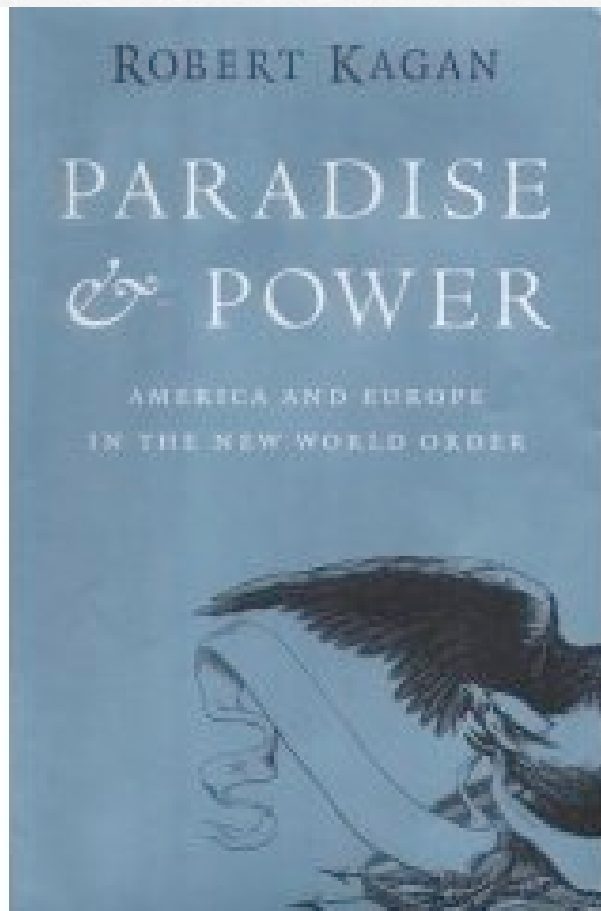
アフリカ

多極化？

冷戦後の世界秩序—二つの主要な議論



欧州＝金星？ 挑戦者？



『大欧州の時代—ブ
リュッセルからの報
告』（岩波新書 新赤
版）脇阪紀行（著）

欧州統合とアジア統合

モデル1: 仏独モデル

モデル2: 英一大陸6カ国モデル

□ パリ・ボン枢軸: 「欧州統合のエンジン」

A. 独一日

B. 仏一中

□ 第二次大戦時: A → 侵略 → B.

□ 「歴史認識」 独 : 日

□ 地域統合への対応

European Integration / Asian Integration

